

平成 26 年 12 月分電力需給状況

需要の概要

平成 26 年 12 月分の販売電力量は、22 億 4 千 9 百万キロワット時、前年比 101.0% となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、12 月の低気温による暖房需要の増加があったものの、11 月下旬の高気温や節電による影響などから、前年比 98.8% となった。

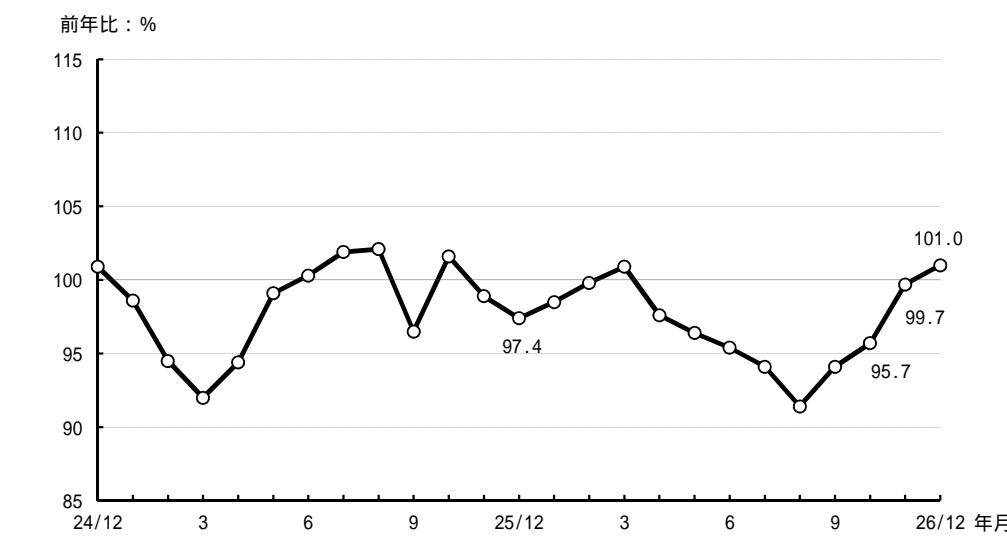
事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、節電による影響はあったものの、12 月の低気温による暖房需要の増加などから、前年比 101.5% となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプにおいて自家発の補修があったことなどから、前年比 105.4% となった。

「電灯」等の低圧需要の 12 月分検針期間は、11 月の検針日～12 月の検針日の前日までの 1 ヶ月間であるため、11 月中・下旬における使用分の多くは 12 月分に含まれる。

需要実績		電力量	前年比
		(百万キロワット時、%)	
特定規模需要以外の需要		電 灯	782 98.8
		電 力	123 96.1
		計	905 98.4
特定規模需要(自由化対象)		業務用電力	520 101.5
		産業用電力	824 103.8
		うち大口電力	(648) (105.4)
		計	1,344 102.9
販売電力量 計		2,249	101.0
融 通 等		66	81.3

(参考 1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳		前年比			
		電力量	26/12月	26/11月	26/10月
織 繊	29	106.8	97.1	91.2	
紙・パルプ	127	122.8	133.5	97.1	
化 学	83	96.3	95.1	93.1	
鉄 鋼	79	104.8	100.7	108.8	
機 械	147	103.5	103.8	102.6	
そ の 他	183	101.3	98.1	99.6	
合 計	648	105.4	104.6	99.5	

(参考 2) 4 県都平均気温

	26/11月				26/12月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 繢	16.0	12.0	14.5	14.2	7.7	5.8	6.6	6.7
平年差	0.6	1.3	3.1	0.8	1.9	2.4	0.8	1.6
前年差	0.9	0.4	4.4	1.3	2.1	1.1	0.7	0.8

供給の概要

- 原子力は、前年同様、伊方発電所が全号機停止している。
- 水力は、前年が今年以上に豊水であったことなどから、前年比 92.8% となった。
- 火力は、総需要の増加などから、前年比 101.7% となった。

供給実績		備 考		
		電力量	前年比	
原子力	(0) 0	-		
水 力	(7) 189	92.8		
火 力	(89) 2,529	101.7		
新工ネ	(4) 125	145.6		
発受電計	(100) 2,843	102.4		
そ の 他	3	-		
供 給 計	2,840	102.5		

注1. () 内は構成比

注2. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考 3) 各県別の需要状況

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量 計	(100.7) 513	(97.0) 354	(103.6) 788	(100.6) 594

注. () 内は前年比